

MITSUBISHI

三菱 時間帯別電灯
対応型 電気温水器ダイヤホット

●この温水器は申請によって「過電制御型」として割引料金が適用されます。
買換えなどで機種変更した場合でも電力会社へ申請してください。
なお過電制御型は、第2深夜電力（5時間）では使えません。

形名

SRT-3744D-BL, SRT-4644D-BL, SRT-5544D-BL

据付工事説明書

販売店・工事店さま用

安全のために必ずお守りください

- この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために正しい据付工事が必要です。工事の前にこの「安全のために必ずお守りください」を必ずお読みください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

表示と意味は次のようになっています。

本文中に使われる“図記号”の意味は次の通りです。

	警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。
	注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

	絶対に行わないでください。
	必ず指示に従い、行ってください。
	必ずアース工事を行ってください。

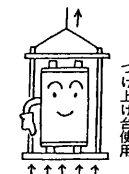
警告		注意	
	必ずアース工事をする 工事に不備があると、故障や漏電のときに感電する恐れがあります。		凍結防止対策を行う 凍結すると、配管が破裂してやけどをすることがあります。
	ガス類や引火物の近くには据付けない 据付けると、発火・火災になることがあります。		床面の防水・排水処理工事をする 処理しないと、水漏れが起きたとき大きな被害につながる恐れがあります。
	漏電遮断器の動作を確認する 故障のまま使用すると、感電する恐れがあります。		脚をアンカーボルトで固定する 固定しないと、地震のとき本体が倒れてけがをすることがあります。

1. 据付工事をされる方へ

- この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に「安全のために必ずお守りください」を必ずお読みください。
- お読みになった後は、取扱説明書とともに、お使いになるお客さまにお渡しください。

【お願い】

- この据付工事説明書に記載されていない方法や、指定部品を用いないで工事され、事故や故障が生じた場合は責任を負いかねます。
- 配管工事については必ず、当該水道局（水道事業管理者）の認定水道工事業者が行い、指定された配管材料を使用してください。
- 水は必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水をご使用ください。
- 電気工事は必ず電気工事士が行ってください。
- 屋外で開梱した場合、強風によって製品が転倒する場合がありますので風が当たらない安定した場所に仮置きするようにしてください。
- 運搬するときは前面カバーを上にして温水器上面の取っ手、および底面の脚を使用してください。前面カバーを下にすると突起物にあたって変形するおそれがあります。
- 工事をされる時、温水器の上面には上がらないでください。変形するおそれがあります。
- 高層住宅などへのつり上げ運搬はつり上げ台を使用してください。上面の取っ手の使用はつり上げ強度に耐えないため危険ですのでやめてください。



2. 純正別売部品

○据付工事には、品質と耐久性を考え、三菱純正別売部品をお使いください。

No.	部 品 名	個数	個別形名	セット形名
1	減圧弁	1	GT-8A	BA-12B
2	逃し弁	1	GT-19B	
3	絶縁パイプ（1m）	1	GT-60B	
4	絶縁パイプ（0.5m）	1	GT-61B	
5	ホッパー	1	GT-70	
6	特殊エルボ	1	GT-54B	
7	逃し弁特殊チーズ	1	GT-55B	
8	ステンレスニップル	1	—	
9	ホッパー接続具	1	—	
10	負圧作動弁付逃し弁	1	GT-40B	
11	アース棒	1	GT-30B	
12	給湯加圧ポンプ	1	GT-81B	
13	空気抜き弁	1	GT-20B	
14	空気抜き弁特殊チーズ	1	GT-57B	
15	リモコンケーブル（1m）	1	LM-501B	
16	リモコンケーブル（3m）	1	LM-503B	
17	リモコンケーブル（5m）	1	LM-505B	
18	リモコンケーブル（7m）	1	LM-507B	
19	リモコンケーブル（10m）	1	LM-510B	
20	リモコンケーブル（15m）	1	LM-515B	
21	脚固定板	1	GZ-7B	
22	振れ止め金具	1	GZ-T1	

3. 同梱付属品

下部の部品が付属されています。

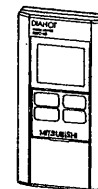
配管支持板

（取扱説明書の袋の中に入っています。）



リモコン

（ケース側面に付いています）



4. 据付工事

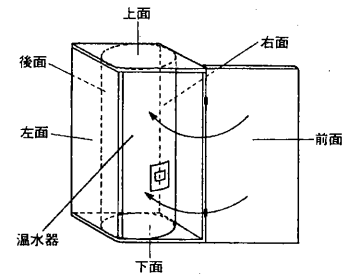
据付場所

- 軒下に据付ける場合は、前面カバーに雨水がかからないようにしてください。(屋内軒下兼用タイプ)
- 雨や雪が降ったとき、水たまりができて水につかるようなところには絶対に据付けしないでください。
- 火気、ガスなどの引火物の近くに据付けしないでください。
- 保守、点検に必要なスペースとして前面を130cm以上、上部は50cm以上あけておいてください。
- 浴室など湿気が多いところには据付けしないでください。
- 配管の放熱ロスを少なくするため使用ひん度の多い台所の近くが最適です。
- 室内に据付ける場合は通気口を設け密閉室にしないでください。
- 温水器と建物とのすきま寸法は各都市の火災予防条例に従って据付けてください。

温水器と建物とのすき間寸法

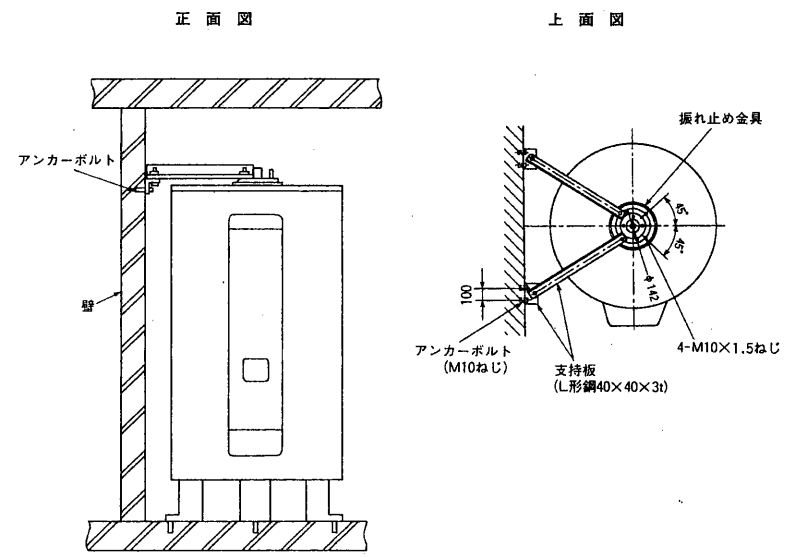
この温水器は「組込み形等電気機器の設置に関する自主基準」(平成6年11月18日社団法人日本電機工業会)適合品のため、建築物の可燃物等からの離隔距離は表に掲げる数値以上の距離を保ってください。

場所	離隔距離 (mm)
上方	5
左方	0
右方	0
前方	0
後方	0
下方	0



振れ止め工事

○2階以上に据付ける場合は、別売部品の振れ止め金具(GZ-T1)を、温水器に取り付けてから振れ止め工事を行ってください。



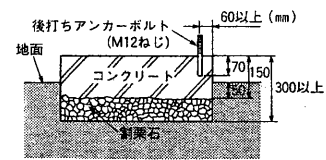
品名 雄ねじ形メカニカルアンカーボルト
アンカーボルト寸法 (mm)

直径	全長	ネジの長さ	ドリル径	埋込み深さ
10	60	25	10.5	35

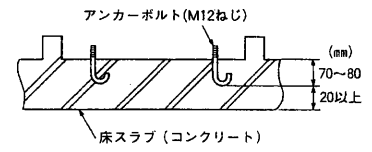
床面工事

- 温水器の重量(550ℓで満水時約609kg)に十分耐える基礎工事をしてください。
- 脚は、地震時の転倒防止のため必ずアンカーボルトを使用して、床面に固定してください。
- 集合住宅の場合、万一の水漏れによる事故防止のため床面の防水、排水工事は確実にしてください。
- 買替時、アンカーボルトの位置が異なっているときは新たにアンカーボルトを打ってください。

基礎工事 [屋外の場合]



[屋内 (集合住宅) の場合]

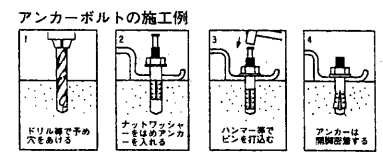


- 【お願い】
- ・コンクリートの圧縮強度は180kgf/cm²以上にしてください。
 - ・アンカーボルトは引抜き力が1000kgfになる施工をしてください。
 - ・後打ちアンカーボルトの場合は下記のものをご使用ください。

品名: 雄ねじ形メカニカルアンカーボルト

アンカーボルト寸法 (mm)

直径	全長	ネジの長さ	ドリル径	埋込み深さ
12	100	30	12.7	70



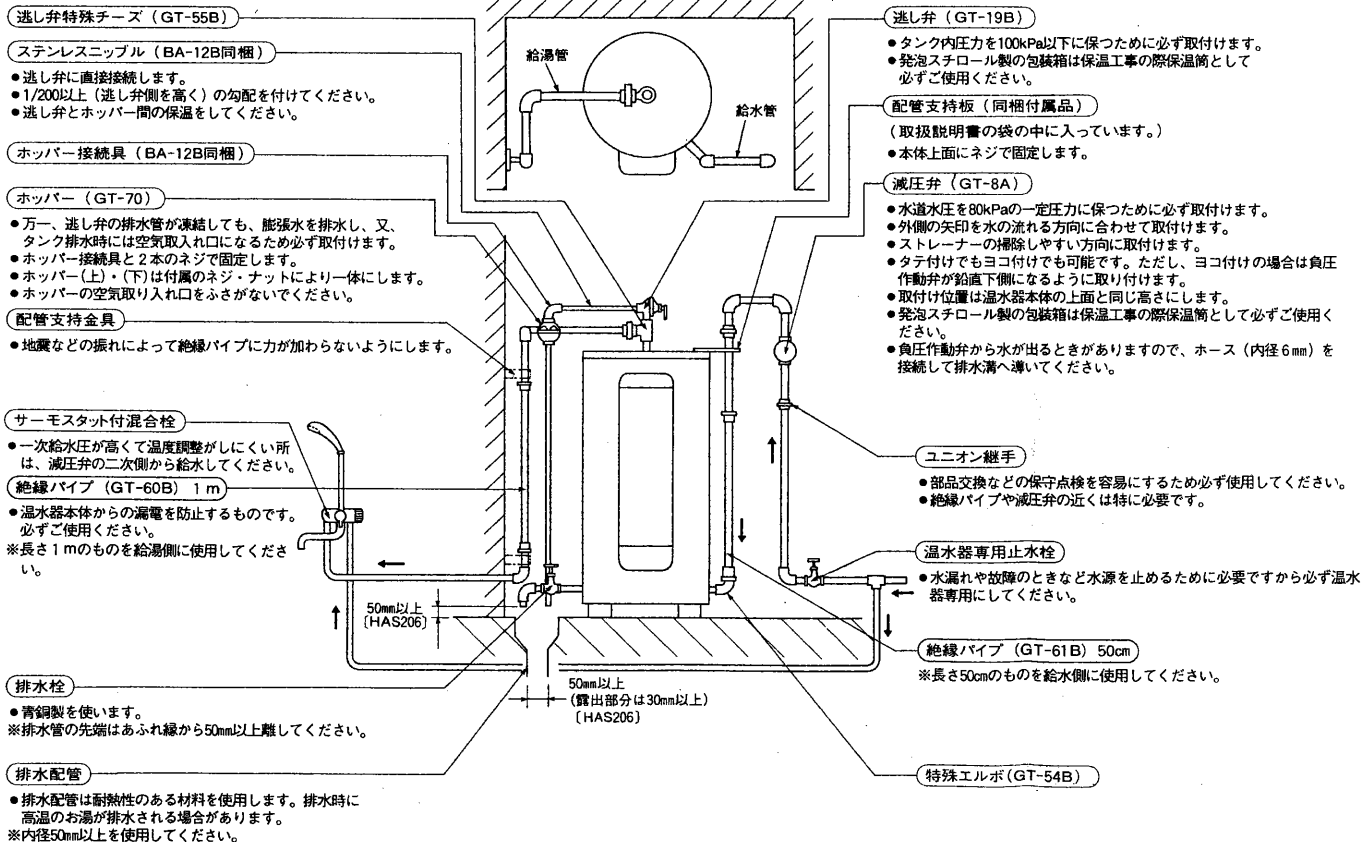
特殊工事

- 階下へ給湯及び排水する場合、タンク内が負圧となりタンクが損傷することがあります。
 - 1階に据付けて2階に給湯する場合は水圧の関係で湯の出が悪くなる場合があります。
 - 多量の湯を得るために温水器2台を据付けるときは直列配管をしてください。
- 以上の場合は **特殊配管工事** の項をご覧ください正しい工事を行ってください。

5. 配管工事

- 配管工事は必ず認定水道工事業者が行ってください。
- 上水道を使用する場合は当該水道局の条例に基づき認定水道工事業による施工が必要です。
- 各部品は耐久性を考え三菱純正別売部品をお使いください。なお、当該水道局で材質が指定されている場合はそれに従ってください。(三菱純正別売品を使用せず、これが原因で本体不良になった場合は製品本体の保証はできません)
- 温水器回りの配管部品は、保守、点検がしやすいように取付けてください。
- 水栓は湯水混合栓を使用することをおすすめします。特に浴室ではサーモスタート付混合栓等の使用をおすすめします。

標準配管例

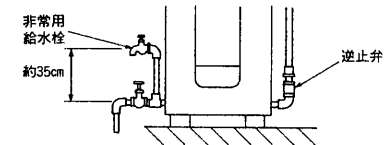


【お願い】

- 配管材料をろう付けした場合は、ろう付け箇所のフラックスや温水器天板へ飛散したフラックスを濡れた布できれいに拭き取ってください。
- 配管材料はネジ切り・切断などの際、油やゴミが付着しますから加工後は必ず中性洗剤で洗浄してから配管します。
- 給湯配管はすべて1/200以上 (逃し弁側を高く) の勾配を付けてください。「エアークロウ」を防止します。
- 鳥居配管をしますと、配管途中にエアークロウを生じますので避けてください。
- 給排水口を持って強い力を加えたり、足場にしたりしないでください。タンクが損傷します。
- 給湯配管は、管の膨張収縮がありますのでコンクリート壁やスラブを貫通するときはスリーブを使用し、埋設配管するときは管を固定せず、ユニオン継手などを使用して点検できるようにしてください。

お知らせ

- 地震などの災害時に安全で便利な配管工事をおすすめします。
- 温水器周辺の配管は本体の振れを吸収できるように銅管でたわむように配管をしてください。(標準配管例参照)
- 給水管が破損したときにタンクの水が漏れないように本体接続部に逆止弁を取付けてください。
- 断水時にはタンク内の水を生活用水として利用できるように非常用給水栓を排水栓手前の上部に取付けてください。



配管

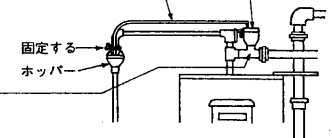
- 給湯配管は、耐熱、耐食性など、耐久性の点から銅管やステンレス管などを使用してください。
- 給水配管は合成樹脂内面処理鋼管、又は銅管を使用してください。
- 消耗性の部品の接続部には必ずユニオン継手を使用してください。
- 給水配管には、タンクの掃除や点検など排水するときに必要な温水器専用止水栓を必ず取付けてください。
- 給湯配管には、お湯の飛び散りを防ぎ使い勝手を良くするために必要に応じて別売部品の空気抜き弁 (GT-20B) を取付けてください。

空気抜き弁 (GT-20B)

- 空気溜りを防ぐため取付けてください。
- 保温は必ず行ってください。

ビニールホース (空気抜き弁に付属)

- 万一の故障にそなえてビニールホースをホッパーへ導いてください。
- ホースはつぶれないようにしてホッパーに固定してください。



保温

- 配管接続部の水漏れの有無を点検してから工事をしてください。
- 湯温の低下と凍結防止のためすべての配管には必ず保温材を巻いてください。
- 減圧弁、逃し弁は付属の発泡スチロール製の包装箱で保温してください。
- 地中配管や、屋外など雨露のかかる保温箇所には適切な防水処理をしてください。

凍結防止工事

保温工事がしてあっても周囲温度が0℃以下になると、配管が凍結するおそれがありますので適切な凍結防止対策を施工してください。(下図参照)

【お知らせ】●下記凍結防止対策の配管例図は標準配管例図をもとにした応用例です。

●水抜き栓、ストップバルブには玉形弁を使います。

(1)水抜きによる方法

ストップバルブ(※1)、空気取入用バルブ(※2)、水抜き栓(※3、※4)が追加になります。

(2)凍結防止ヒーターによる方法

工事方法は下図をご参照ください。

①凍結のおそれのある配管部分はすべて巻きます。

②凍結防止ヒーターを巻く場合はヒーター同梱の「説明書」により施工します。

③凍結防止ヒーターは何本も使用されますので適当な位置にコンセントを設けます。

(3)少量の水を流し続ける方法

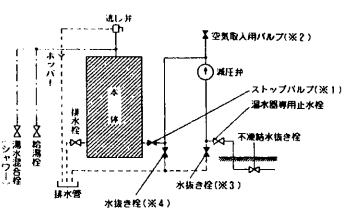
①ストップバルブ(※1、※2)が追加になります。

②ストップバルブ(※1)を閉じ、ストップバルブ(※2)を開き、各給湯栓・湯水混合栓を少し開けて糸ひき状態にして水を流します。

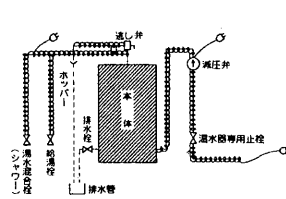
なお、上記の凍結防止対策が施工できない場合でも減圧弁を通した給水栓側を少し開き、糸をひく程度に水を流して凍結防止をするの簡便な方法がありますのでお客様に説明してください。

【お願い】凍結防止対策とその操作方法をお客様に充分説明してください。

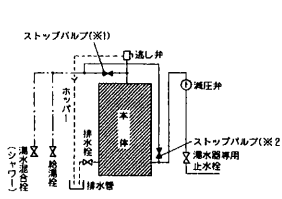
水抜きによる方法



凍結防止ヒーターによる方法



少量の水を流し続ける方法



特殊配管工事

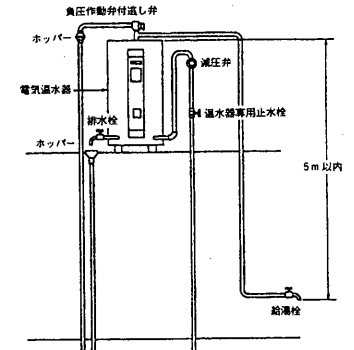
【階下へ給湯する場合】

○温水器を2階または屋上に設置し、階下へ給湯する場合は必ず別売の負圧作動弁付逃し弁(GT-40B)をご使用ください。

○給湯栓と温水器の高低差は、5m以内にしてください。(5m以上になると負圧作動弁から空気を吸込み、空気の混ざったお湯が出る場合があります。)

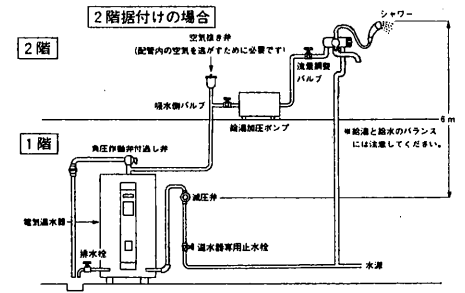
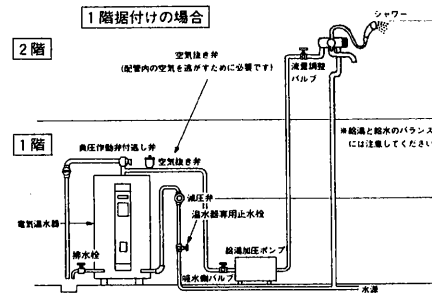
○排水栓からの排水工事は、ホッパーを接続して階下へ配管してください。

ホッパーを接続しないと、タンク排水時に逃し弁より先に排水栓を開くとタンク内が負圧となりタンクを損傷するおそれがあります。



【給湯加压ポンプ(GT-81B)を使用する場合】

設置・配管方法



据付工事方法(詳しくは、給湯加压ポンプGT-81Bの据付工事説明書をご覧ください)

- ポンプの吸込管側には必ず空気抜き弁を取付けてください。空気が入るとお湯が出なくなります。
- ポンプの吐出・吸込側配管にはバルブ(吸込側バルブ、流量調整バルブ)を設けてください。(修理・点検の際に必要です。)
- 減圧弁と最も高い給湯栓(シャワー等)までの高さは6m以内にしてください。6mをこえるとポンプを運転させるのに必要な流量が確保できなくなるのでお湯が出ない場合があります。
- ポンプの据付面から階下へは絶対に給湯しないでください。温水器やポンプに負圧が発生し破損、故障の原因となります。
- 水源の給水圧力は100kPa(1kgf/cm²)以上確保してください。

【2台直列配管する場合】

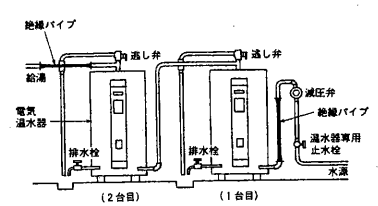
○温水器は管抵抗を小さくするためそれぞれ近づけて設置してください。

○減圧弁は1台目の水源側に取付けてください。

○逃し弁を各温水器に取付けてください。

○絶縁パイプを1台目の水側と2台目の湯側の配管に接続してください。

○電気工事は1台ずつ別々に行ってください。



減圧弁・逃し弁の指定〔社日本水道協会 統一注意表示〕

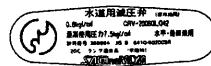
この機器は、労働省・労働安全衛生法施行令(昭和57.4.20政令第124号)及び日本工業規格(JIS)により、水頭圧10m以下100kPa(1kgf/cm²)以下で使用することが義務付けられているため、必ず減圧弁及び逃し弁を取付けて使用して下さい。

- 水頭に直結して使用する場合は、必ず次に掲げるもの、かつ、当該水道事業者が承認するものを使用して下さい。
 - 日本水道協会の型式登録品で、かつ、検査合格証が貼られている減圧弁及び逃し弁又は、
 - JISマークが表示されている水道用減圧弁及び混水機器用逃し弁
- 水頭に直結する場合で、寒冷地用の減圧弁及び逃し弁の使用が義務付けられている地域では、必ず次の表示を欄路の上、使用して下さい。
 - 日本水道協会の「型式登録品で、かつ、その検査合格証のあるもの」の場合減圧弁・逃し弁ともに、日本水道協会の検査合格証に丸・寒表示がある。
 - JISマーク表示の場合 丸・寒 ラベル



水道用減圧弁は、設定圧力80kPa(0.8kgf/cm²)とJISマーク及び「寒冷地用」の表示がある。

減圧のラベルの例



温水器用逃し弁は、吹込圧力95kPa(0.95kgf/cm²)とJISマークの表示がある。

逃し弁のラベルの例



6. 電気工事

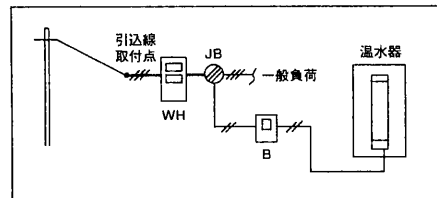
電気設備に関する技術基準および電力会社の内線規程に基づき指定工事業者による施工が必要です。

- 通電確認（試運転）は必ずタンクを満水してから行ってください。
- この温水器は、時間帯別電灯対応型ですので、深夜電力では使用できません。やむを得ず深夜電力で使用する場合は「深夜電力で使用する場合」の工事を行ってください。
- ブレーカー（配線用遮断器）および電線（ケーブル）の太さは内線規程（下表参照）に定められたものを使用してください。

お知らせ ケーブルの太さは、将来容量の大きい温水器（370Lから460L）に買替えても可能なように1ランク上のサイズにしておくことをおすすめします。

引込配線

引込口から温水器までの回路は下図のとおりです。



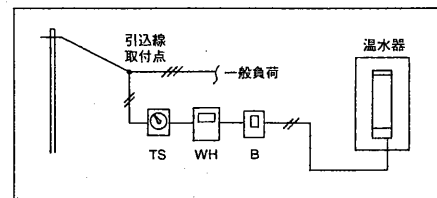
- WH 電力量計（時間帯別電灯用）
- B ブレーカー
- ◎ ジョイントボックス
- ≡ 単相 3 線
- ≡ 単相 2 線

【お願い】 引込線取付点とジョイントボックス(JB)間の電線(ケーブル)の太さは一般負荷と温水器を見込んだサイズにしてください。

ブレーカーの定格とケーブルの太さ

定格電圧	定格消費電力	ブレーカー定格	ケーブルの太さ	種類
単相200V(深夜電力)	4.4KW	30A	φ2.6mm	VVF
単相200V(深夜電力)	5.4KW	40A	8mm ² (φ3.2mm)	VVF
単相200V(深夜電力)	6KW	40A	8mm ² (φ3.2mm)	VVF

深夜電力で使用する場合



- WH 電力量計（深夜電力用）
- TS タイムスイッチ
- B ブレーカー
- ≡ 単相 3 線
- ≡ 単相 2 線

お知らせ 深夜電力で使用する場合は昼間(7:00~23:00)の沸き増しはできません。

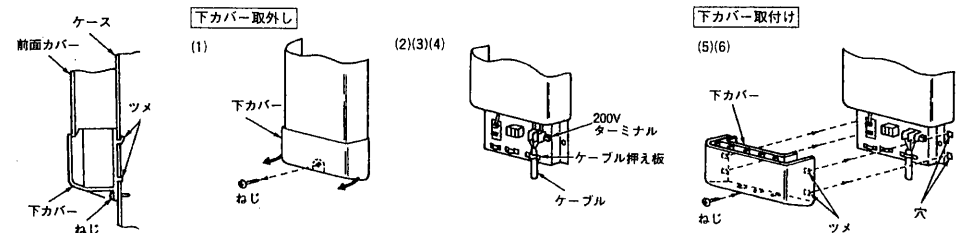
電源200V配線

- (1)下カバーのねじ1本をはずし下カバーを外します。(下カバーの下部を手前に引くようにしてははずします。)
- (2)200Vターミナルに付いている圧着端子を指定のカシメ工具で200V電源ケーブルにカシメます。
- (3)200Vターミナルに200V電源ケーブルの端子を接続します。(締付トルク33kgf/cm²以上、線間絶縁距離6mm以上)
- (4)ケーブル押え板で200V電源ケーブルを固定します。
- (5)ケーブルを下カバーの切欠きに合わせてから下カバーのツメをケースの穴にはめ込みます。
- (6)下カバーをねじ1本で取付けます。

【お願い】

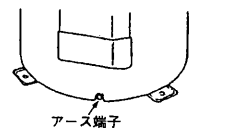
- ケーブルは必要以上にたるませないでください。
- ターミナルへの接続は必ず付属の端子を使用してカシメ、確実に固定してください。

〔下カバー断面図〕



保護アース(接地)工事

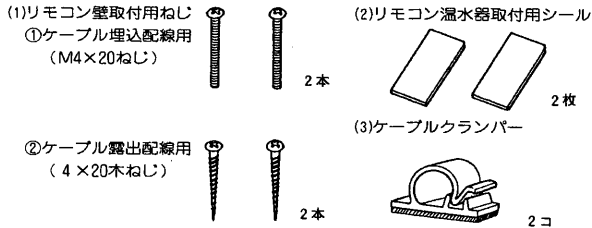
- 別売部品のアース棒(GT-30B)をご使用ください。
- 万一の感電事故防止のため電気設備技術基準および内線規程に基づき、必ず電気工事士による第3種接地工事（接地抵抗値100Ω以下）を行ってください。
- 水道管、ガス管への接地、および他器具用アースとの共用はできません。
- 避雷針の接地と2m以上離してください。
- (1)別売部品（GT-30B）のアース棒と市販のアース線（IV電線3.5mm²緑色）を半田付または中継端子で接続します。
- (2)アース線を本体下部のアース端子に接続します。
- (3)アース棒は湿気のあるところで地中30cm以下の深さに打ち込んでください。(集合住宅の場合はアース配線に接続してください。)



7. リモコン工事 (リモコンは側面に付いています。)

1. 同梱部品

下記の付属部品があります。



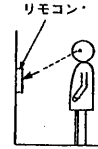
2. 必ずお守りください

取付場所の選定

(1) リモコンは必ず屋内に取付けてください。

【お願い】リモコンは下記の場所には取付けしないでください。

- ・浴室など湿気の多いところ
- ・ガスケーブルなどの高温 (50℃以上) になるところ
- ・直射日光のあたるところ
- ・蒸気や水しぶきのかかるところ



(2) リモコンはスイッチ操作が容易にでき、表示が良く見えるところ (目の位置より少し下側のところ) に取付けてください。

配線・接続方法

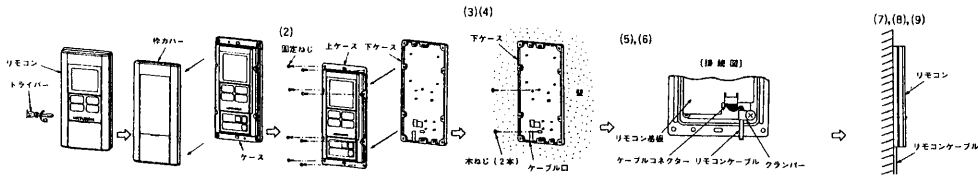
- (1) リモコンケーブルのコネクターを接続するときは、リモコン基板の電子部品に手が触れないようにしてください。また、コネクターに力が加わらないように行ってください。
- (2) リモコンケーブル同士の中継は誤動作の原因になりますので、やめてください。
- (3) リモコンケーブルは電源電線と離して (約5cm以上) 配線してください。ノイズによる誤動作の原因になります。

3. リモコン取付・接続工事

1. リモコンを壁に取付けて使用する場合

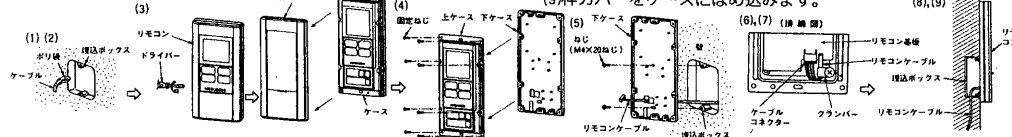
ケーブル露出配線のとき

- (1) マイナスドライバーを使って枠カバーをケースからはずします。
- (2) 固定ねじ (8本) をとって、上ケースと下ケースをはずします。
- (3) 下ケースを付属品の② 4×20木ねじ (2本) で壁に取付けます。
- (4) 下ケースの「ケーブル口」をニッパーなどで切り欠きます。
- (5) 上ケースのクランパーをはずします。
- (6) 上ケースのリモコン基板コネクターにケーブルコネクターを差し込んでからリモコンケーブルをクランパーで固定します。
- (7) 上ケースを下ケースにはめて固定ねじ (8本) でとめます。
- (8) 枠カバーをケースにはめ込みます。
- (9) ケーブルを壁面に固定して温水器のあるところへ配線します。



ケーブル埋込配線のとき

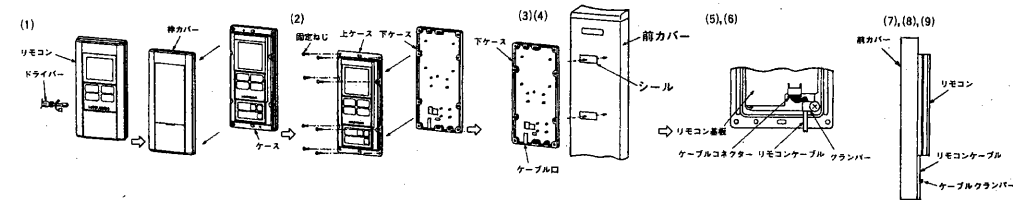
- (1) リモコンを取付ける場所に埋込ボックス (JIS1個用スイッチボックス) を固定します。
- (2) リモコンケーブルを電線管を通して温水器まで配線します。
(リモコンケーブルを配線するときは、コネクターを保護しているポリ袋をつけたままでコネクターに張力が加からないように行ないます。)
- (3) マイナスドライバーを使って枠カバーをケースからはずします。
- (4) 固定ねじ (8本) をとって上ケースと下ケースをはずします。
- (5) 埋込ボックスから出ているリモコンケーブルを下ケースの穴に通してから、下ケースを付属品の① M4×20ねじ (2本) で埋込ボックスに取付けます。
- (6) 上ケースのクランパーをはずします。
- (7) 上ケースのリモコン基板コネクターにケーブルコネクターを差し込んでからリモコンケーブルをクランパーで固定します。
- (8) ケーブルを埋込ボックスに押し込むようにして、上ケースを下ケースにはめて固定ねじ (8本) でとめます。
- (9) 枠カバーをケースにはめ込みます。



2. リモコンを温水器に取付けて使用する場合

【お願い】・温水器が直射日光や、雨があたるところに設置してある場合は取付けしないでください。

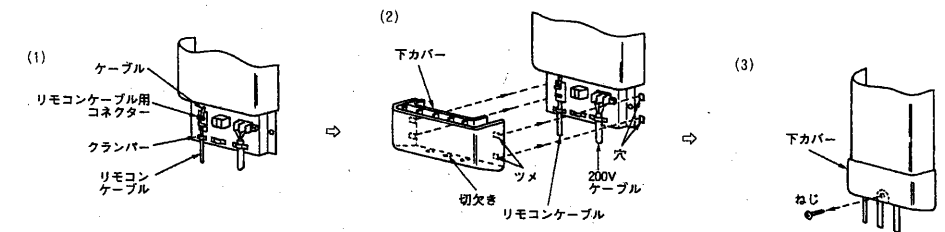
- (1) マイナスドライバーを使って枠カバーをケースからはずします。
- (2) 固定ねじ (8本) をとって、上ケースと下ケースをはずします。
- (3) 下ケースを付属品のシール (2枚) を貼って温水器の前カバーに取付けます。
- (4) 下ケースの「ケーブル口」をニッパーなどで切り欠きます。
- (5) 上ケースのクランパーをはずします。
- (6) 上ケースのリモコン基板コネクターにケーブルコネクターを差し込んでからリモコンケーブルをクランパーで固定します。
- (7) 上ケースを下ケースにはめて固定ねじ (8本) でとめます。
- (8) 枠カバーをケースにはめ込みます。
- (9) ケーブルを付属品のケーブルクランパー (2個) で固定します。



3. リモコンケーブルと温水器の接続

【お願い】温水器のリモコンケーブル用コネクターに接続されているケーブルは抜かないでください。

- (1) リモコンケーブルのコネクターをリモコンケーブル用コネクターに接続し、リモコンケーブルをクランパーで固定します。
- (2) リモコンケーブルと、200Vケーブルを下カバーの切り欠きに合わせてから下カバーのツメをケースの穴にはめ込みます。
- (3) 下カバーをねじ1本で取付けます。



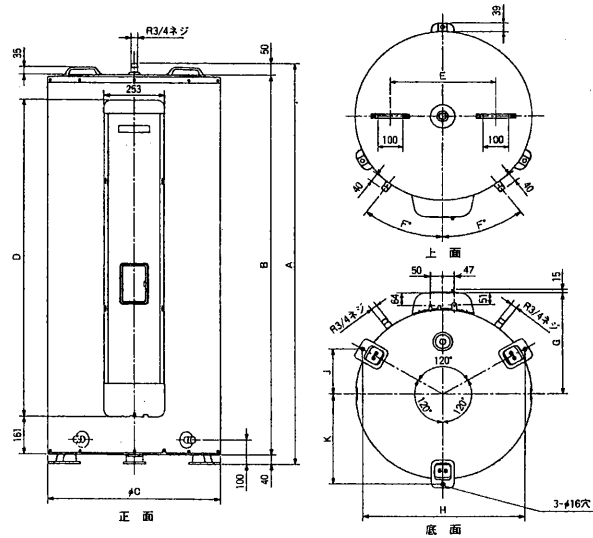
8. 据付・工事後の確認

据え付け工事が終わりましたら、下表に従ってもう一度点検してください。

不具合がありましたら必ず直してください。（機能が発揮できないばかりか、安全性が確保できません。）

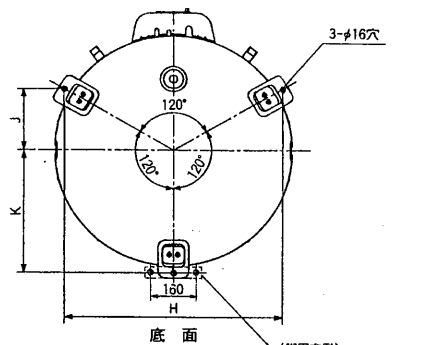
チェック項目	チェックポイント		判定							
1 据付け状態	(1)脚がアンカーボルトで固定されていますか(3カ所)	(4)火気・引火物に近くありませんか								
	(2)温水器の満水時の重量に十分耐えますか	(5)温水器本体の出し入れが出来ますか								
	(3)点検・修理がしやすいですか	(6)万一の排水・防水処理はしてありますか								
2 配管工事	(1)温水器専用止水栓は適切な位置についていますか	(8)給湯配管材は耐食性、耐熱性に問題ない材質ですか(銅管、ステンレス管などであれば可)								
	(2)減圧弁はついていますが	(9)埋込部に塩ビ管を使用していないですか								
	(3)逃し弁はついていますが	(10)絶縁パイプと金属管との接続部はインサートねじのものになっていますか								
	(4)減圧弁、逃し弁の取付けは正しいですか	(11)排水配管材は90℃の温度に十分耐える材料になっていますか								
	(5)絶縁パイプはついていますが	(12)給湯、給水配管には保温材が巻いてありますか								
	(6)ホッパーはついていますが	(13)減圧弁、逃し弁及び逃し弁排水横引管には保温筒・保温材が使われていますか								
	(7)減圧弁の負圧作動弁からの排水は排水溝に導いていますか									
3 電気工事	(1)電線の太さは十分ですか	(7)電源ケーブル押えは使っていますか (8)リモコンは屋内の見やすい場所に付いていますか。								
	(2)ブレーカーはついていますが									
	(3)ブレーカーの定格は十分ですか									
	(4)線間電圧は単相200Vですか									
	(5)電源ターミナルの締付けは十分ですか									
	(6)接地は確実ですか(第三種接地)									
通電テストを実施する場合 ヒーターの空だきを防止するため タンクに給水されていることを必ず 確認してください。		参考 電線の太さ、ブレーカーなどの定格								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">8時間</th> <th>温水器</th> <th>電線の太さ</th> <th>ブレーカーの定格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>370/4.4KW 460/5.4KW 550/6.0KW</td> <td>φ2.6mm 8mm²(φ3.2mm) 8mm²(φ3.2mm)</td> <td>30A 40A 40A</td> </tr> </tbody> </table>	8時間	温水器	電線の太さ	ブレーカーの定格	370/4.4KW 460/5.4KW 550/6.0KW	φ2.6mm 8mm ² (φ3.2mm) 8mm ² (φ3.2mm)	30A 40A 40A	
8時間	温水器	電線の太さ		ブレーカーの定格						
	370/4.4KW 460/5.4KW 550/6.0KW	φ2.6mm 8mm ² (φ3.2mm) 8mm ² (φ3.2mm)	30A 40A 40A							
4 凍結防止工事	(1)適切な工事がされていますか									
5 水漏れ確認	温水器に次の手順で給水します									
	① 台所または洗面所の湯水混合栓を開きます									
	② 温水器専用止水栓を開きます									
	(1)湯水混合栓からの流量は十分ですか									
(2)配管各部からの水漏れはないですか										
(3)逃し弁のレバーを立てて排水栓を開いたとき排水はあふれ出ることはないですか										

9. 外形寸法図



タンク容量(L)	370	460	550	
質量 (kg)	49	55	59	
満水時	419	515	609	
寸法 (mm)	A	1673	1715	1896
	B	1583	1625	1906
	C	φ880	φ720	φ720
	D	1356	1356	1667
	E	370	430	430
	F	40	37.4	37.4
	G	401	431	431
	H	610	662	662
	J	176	191	191
	K	352	382	382

アンカーボルトの位置

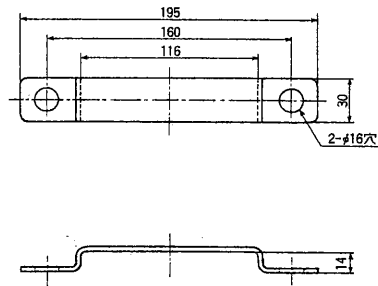


(脚固定例)
製品の脚に直接ボルト締めできない場合に使用します。

●寸法変化表

タンク容量(L)	370	460	550
H	610	662	662
J	176	191	191
K	352	382	382

脚固定板の寸法 (別売品GZ-7B)



10. 試運転

試運転はお客様立ち合いで行ってください。

△注意

通電はタンクを満水(湯水混合栓を「高」側にして水が出ること)にしてから行ってください。満水にならないうちに通電するとヒーターが過熱して故障の原因になります。

【お願い】・温水器の契約電力制度が「深夜電力」か「時間帯別電灯」かを確認したうえで、「深夜電力」の場合は電力会社の了解を得て、タイムスイッチを通電状態にしてから行ってください。
・リモコンの操作は、同梱の取扱説明書を見て行ってください。

(1)電源200Vを通電します。

- ①200V電源ブレーカーを「入」にしてから温水器の漏電遮断器の電源レバーを「入」にします。
- ②リモコンのデジタル表示部に「00:00」と「時計」Ⓜ️が点灯しますので時刻を設定してください。時刻が設定されると「時計」Ⓜ️が消灯します。

お知らせ▶時刻が設定されていないとき

- ・「深夜電力」契約の場合………正常に動作して沸き上げます。
- ・「時間帯別電灯」契約の場合…初日のみ沸き上げますが24時間経過後は沸き上げません。

(2)リモコンを取扱説明書のとおり操作できることを確認します。

(3)漏電遮断器のテストボタンを押して動作を確認します。

「入」になっていた電源レバーが「切」になれば正常です。

(4)漏電遮断器の電源レバーを「入」にもどしてヒーターへの通電を確認します。

リモコンの「沸き上げ中」表示と電力計の回転、または、デジタル表示の変化があれば正常です。

(5)リモコンで湯温設定を行います。

(6)「深夜電力」契約の場合はタイムスイッチの時間を深夜電力の時間帯にセットします。

11. お客様への説明

○別冊の取扱説明書に基づいて、正して使い方をご説明ください。

とくに「安全のために必ずお守りください」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようご説明ください。

○日常の点検、お手入れ方法などは、現品で具体的に説明してください。

○寒冷地での凍結防止対策とその操作方法は具体的に説明してください。

○長期間お使いいただくためには、定期点検が必要なことをお客様にご説明のうえ点検の相談や使用上の質問などに適切に対応してください。

○保証書に所定事項をご記入のうえ、取扱説明書と共にお客様にお渡しください。

○同梱してあるダイヤホットサービスラベルに所定事項をご記入のうえ温水器の見やすい所に貼ってください。